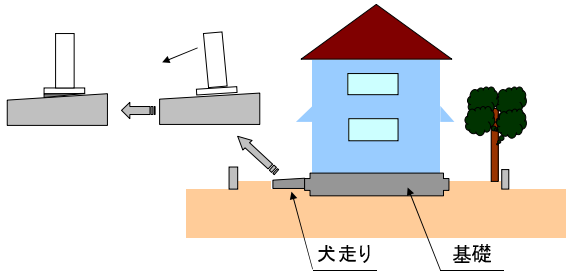


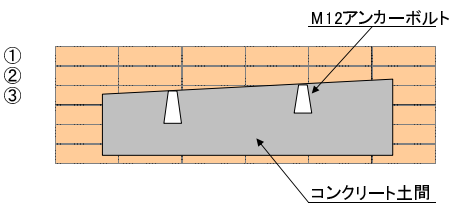
# コンクリート土間設置例



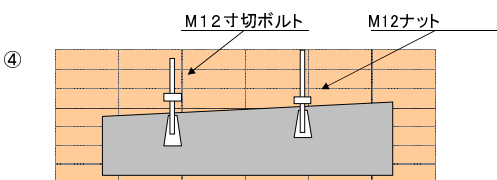
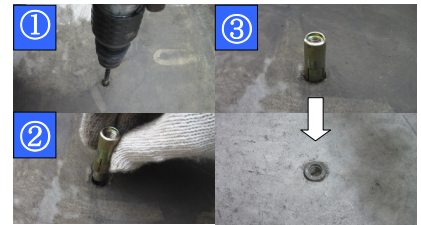
## 《 簡易基礎の必要性 》

犬走り(※1)は、水はけを良くする為に傾斜がつけてあります。直接設置するとタンクユニットが傾いた状態になり倒れてしまう危険が考えられる為、まず設置面の水平を出す必要があります。タンクユニット設置面の水平を出す為に、簡易基礎を使うと簡単に水平を出すことができます。その簡易基礎設置手順を御説明いたします。

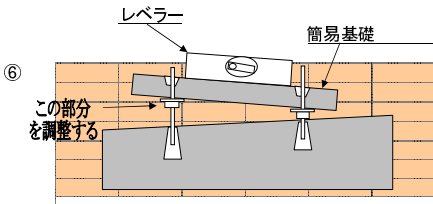
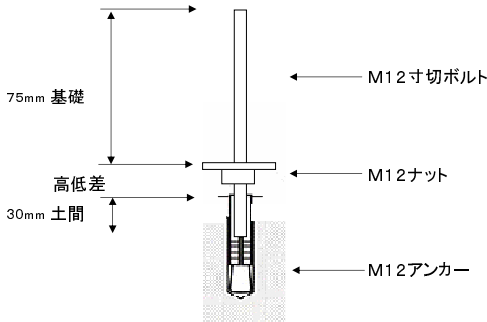
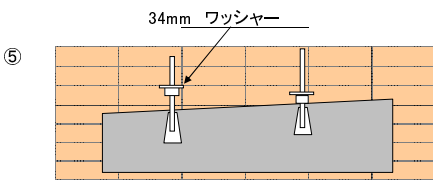
※1 犬走り(いぬばしり)とは犬が通れるくらいの道幅しかないという意味合いの通路で、垣と溝の間や土手の斜面に設けられた細長い平地部分をいう。



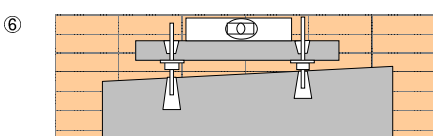
- (1) コンクリート土間にドリルで下穴をあけ、コンクリート粉を取り出して穴の中をきれいにします。
- (2) 下穴にアンカー本体を入れます。
- (3) 打ち込み棒を使ってアンカーを打ち込みます。スリーブの頭が少し沈む位置まで入れます。



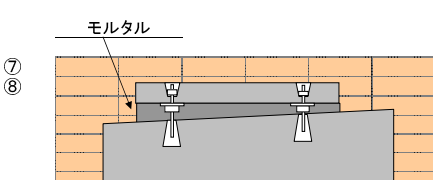
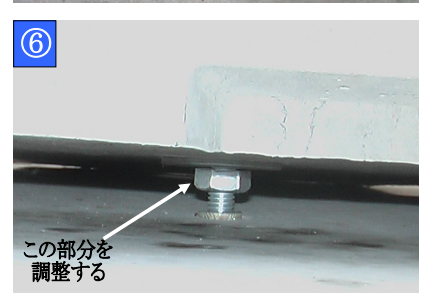
- (4) M12寸切ボルトを105mm+高低差寸法でカット加工し、M12ナットを取り付け、アンカーにねじ込みます。



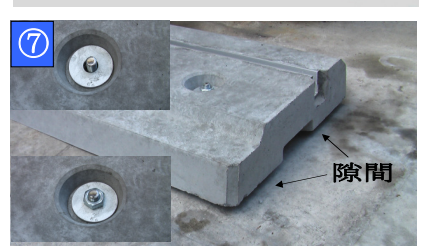
- (5) 34mm以上の丸ワッシャーを用意し寸切ボルトに取り付ける。



- (6) 土間に設置した寸切ボルトに、簡易基礎にある貫通穴の位置に合わせて設置する。  
基礎下部部分にあるナットをレンチを使い、まわしながらレベルを調節します。



- (7) 下部ブロックの貫通穴より寸切ボルトが出ている部分をカット加工する。  
下部基礎の上部より出ている寸切ボルトに34mmワッシャー、M12ナットを通し固定する。



- (8) 土間と下部ブロックの間に出来た隙間にモルタルを詰める。

